

『永寿総合病院に就職を希望される看護職員の方へ』

～ 愛甲院長へいろいろ質問してみました ～

— 永寿総合病院へ入職したきっかけを教えてください。

外科部長として活躍できる都内の病院を求めて、医局に相談しましたところ、大学関連病院である当院のオファーを受けました。

— 今後のコロナ陽性患者さんの受け入れの方向性について教えてください。

感染者専用病棟として14床+αを確保しており、安全のため緊急入院は全てこの病棟を経由して、PCR(-)を確認してから一般病棟に移る方式としております。そのため感染者が増えてしまいますと、この病棟の病床をしばらく占有してしまいますので、その分緊急入院の受け入れが困難になります。HCUの個室も2床しかありませんので、他の重症疾患のために確保しておく必要があります。従いまして、中等症の感染患者さんを一定数に限定して、感染専用病棟で診ることにしております。

— 黒字化目前とお聞きました。今後どのように運営のかじ取りを担っていくご予定でしょうか？

医師の activity は以前と変わらないかむしろ上昇しております。コロナ禍の受診控えや、クラスターによる風評被害により、当初は紹介患者さんが減っていましたが、ようやく元の数字に近いところまで戻ってまいりました。唯一看護部の人員不足による病棟の縮小だけが、病院の復興にブレーキをかけています。看護師の採用を一番の優先事項として、少しでも早く元の病床数にまで拡大して、ご支援をいただいた地域に貢献していきたいと思っております。

— 運営状況次第によっては待遇面も元に戻すというお考えがあるということでしょうか？

今年度は、賞与のみ年間で5分の4に減らしましたが、来年度は減額を考えておりません。普段よりストレスを受けながら懸命に働いたのに給与が下がることには、どうしても納得がいきませんので、その点は行政にも強く訴えております。逆に今後は、看護部の給与体系を全面的に見直して、基本給を上げ、能力や業務量に応じた昇給・昇格のシステムを確立していきたいと考えております。これには、人事部と病院幹部全員が関与する形にしていきます。

— 現在の外来・入院の稼働の状況はいかがでしょうか？

以前は、平日で1日に800人程が外来に来院されていましたが、現在は650人程です。病院の敷地が広くないので、院内ですできるだけ密集を作らないように、連日来院患者数や検査数のモニタリングをしており、感染防止のためには現在の患者数が限度ではないかと考えております。これに加えて、比較的空いている時間に予約を分散させたり、できるだけ待ち時間を減らすような工夫を進めています。入院は、病床数が7割程度に減少しておりますので、充床率は常に80%を超えています。残念ながら看護師不足に伴う病床減少により、緊急入院用の病床から一般病棟への転床が進まず、緊急入院が受け入れられないといった事態も発生しております。

— 今後このような病院にしていきたい、という方向性を教えてください。

職員全員が、この仕事は人助けであることを理解し、それを楽しみ、生きがいにできるような職場、そして地域の患者さんにもそれが伝わることで、皆さんが頼りにし、安心して暮らすことのできるような病院を目指しています。そうした基本理念に加えて、例えば最新の低侵襲治療が行えるように人材や機器を整備するなど、どの職種の方もここで技術や知識を高められるよう進めていきたいと思っています。

— 貴院に来て欲しい人材、フィットすると思う人物像を教えてください。

患者さんは、皆が弱っていたり、困っていたり、落ち込んでいたりしますので、まずはその気持ちがわかる優しい方に来てほしいです。そして、できれば明るく前向きで、物怖じせずにコミュニケーションがとれる方を望んでいます。

— 貴院への入職を希望する看護職員さんへメッセージをお願いします。

当院は、大変厳しい規模のクラスターを経験しましたので、かなり厳格な感染防止対策を講じながら、安全な医療を展開してきています。最近、一般病棟でPCR偽陰性(入院時のPCRは陰性であったが実際は感染していた?)の可能性のある感染例が見つかりましたが、普段の予防策が徹底しておりますので、職員への感染は全く見られませんでした。PCRは自院ですぐに検査できますので、何か懸念が生じてもすぐに払拭することができます。当院の診療の中心はあくまで救急医療を含む一般の急性期疾患です。感染病棟は、当初は2ヶ月交代の配属で運用されていましたが、現在はここにやりがいを感じたスタッフがほぼ定着しておりますので、希望しなければ無理に配属されることはありません。内科系・外科系から緩和科など、25の診療科が活発に診療を行っており、その活動を一層拡大できるよう、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今はまだ、大勢で街に繰り出すことはできませんが、上野・御徒町には無数の飲食店があり、少し足を伸ばせば、湯島・根津・蔵前など魅力的な街があります。そして上野は芸術の中心地といった別の顔も持っていますし、東京一の観光地である浅草も目と鼻の先です。私もここに赴任してから、時代小説、いわゆる江戸ものが大好きになりました。普段何気なく歩いているところが、江戸時代の話の中にたくさん出てくるのです。皆さんも一度は江戸の中心地でこの感慨を味わってみてはどうでしょうか。



ぜひ、皆さんいっしょに働きましょう!